

市民の参画と行政との協働で つくり続ける Minatonomori Park management meeting みなとのもり公園運営会議 Kobe Earthquake Recovery Memorial Park — 神戸震災復興記念公園 —



◆2009年6月20
・芝生植付参加者：約600人



◆2010年4月30日

<公園のコンセプト>

私たちは、全国世界各地からいただいた多くの支援を通じて、人と人のつながりやボランティアの大切さを学び、たくさんの「元気」をいただきました。

震災復興から生まれた元気を未来へ伝えるために、この公園をつくり続けていきます。

<公園づくりの段階に応じた市民の参画>

- 2000年：国の復興特定事業の認可、都市計画決定
- 2001年：神戸市公園緑地審議会での答申
- 2002年：市民ワークショップ（2003年まで6回）
- 2005年：基本計画懇話会（有志の継続検討）
- 2006年：みなとのもり公園検討会（ // 44回）
- 2007年：整備工事着工（ドングリ配布）
- 2008年：ドングリの苗木植樹（工事への参画）
- 2009年：芝生広場ポット苗の育成、植え付け
- 2010年：開園、みなとのもり公園運営会議発足（2015年4月現在61回）

<ドングリの苗木植樹>

- ・「1.17の集い」でドングリを市民に配布。
- ・「おうちで2年間育てて下さいね。」
- ・2年後、市民が育てたドングリの苗木が集った。



◆2008年3月22日
・参加者：約150人
・苗木：約500本

みなとのもり公園運営会議の構成

<公園管理者>

神戸市
建設局公園部

<事務局>

神戸市
公園緑化協会

個人・グループ・行政
が対等に話し合う場

みなもり応援団

花みどり工房

もりづくり

炊き出し訓練
チーム

個人支援者

インライン
スラローム

インライン
ホッケー

アースデイ

BMX

ストリート
バスケット

ジャグリング

ストリート
ダンス

インライン
アグレッシブ

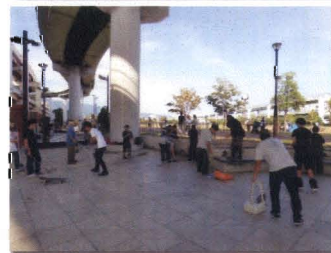
バイクボロ

スケートボード

ブラインド
サッカー

スポーツ部会

- ・ 運営会議の目的は、市民参画による「つくり続ける公園」の実現
- ・ 毎月1回の定例会議は公園のことや楽しみ方を話し合う場
- ・ 市民による自主的総合的な公園運営を行政との協働で実践



- ・ 花みどり工房・みなとのもりは、年2回園内苗圃で花苗を種から育成して、園内花壇に植え付けて維持管理すると共に周辺地域へ配布するなど、花と緑のまちづくりに寄与しています。
- ・ みなもり応援団は、応援団が主体に特定の目的を持った活動を行うのではなく、公園の課題を解決する仕組みや人が育ち、自律した活動ができるようお手伝いをしています。
(森の手入れ、炊き出し訓練、スポーツ広場の課題解決など)
- ・ スポーツ部会は、スポーツ広場を利用しているメンバーの話し合いの場で、毎月第3日曜日午後3時～スポーツ広場の大清掃、その後の会議で、情報や意見を交換しながら課題の解決方法を探り行動につなげています。
スポーツ系の団体は、全国の愛好者に呼びかけて「大会」や「試乗会」を頻繁に開催しています。スポーツコートの利用調整やスポーツ器具の補修などについても、利用する若者たちの間で自主的に行っています。